

令和7年8月1日

国土交通省関東地方整備局

利根川ダム統合管理事務所

独立行政法人水資源機構

利根川上流総合管理所

東京電力リニューアブルパワー株式会社

雪解け水を有効活用したダムの試行運用により過去最大の増電

～既存ダムにおける再生可能エネルギーの活用～

矢木沢ダムにおける雪解け水を活用した試行運用により貴重な水資源の有効活用に取り組んだ結果、CO₂削減効果及び増電効果が確認されました。

2050年カーボンニュートラルを目指す取組の一環として、水循環政策における既存ダムの再生可能エネルギー導入促進を図ることとしております。2022年春より矢木沢ダムと東京電力リニューアブルパワーが管理する発電施設により実施しておりました雪解け水を有効活用した水力発電の試行運用によるCO₂削減量及び増電について、今春が過去最大となりましたので結果を公表致します。

■試行運用結果

2022年春 約 2,000 t の CO₂ 削減 (約 5,000 MWh の増電)

2023年春 約 3,700 t の CO₂ 削減 (約 9,100 MWh の増電)

2024年春 約 1,000 t の CO₂ 削減 (約 2,500 MWh の増電)

2025年春 約 8,000 t の CO₂ 削減 (約 19,700 MWh の増電) (過去最大)

他ダムも含めて、今後も引き続き水資源の有効活用に取り組んでまいります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 刀水クラブ・テレビ記者会
水資源記者クラブ 沼田記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所【本試行運用の全般に関すること】

電話：027-251-2021 (代表) E-mail: ktr-tonegawadam@mlit.go.jp

副所長(技) 守谷 (内線：204)

広域水管理課 課長 笠井 (内線：341)

独立行政法人水資源機構 利根川上流総合管理所【矢木沢ダムの管理に関すること】

電話：0278-24-5711 (代表) FAX：0278-22-7565

管理課 課長 木下 (内線：2331)

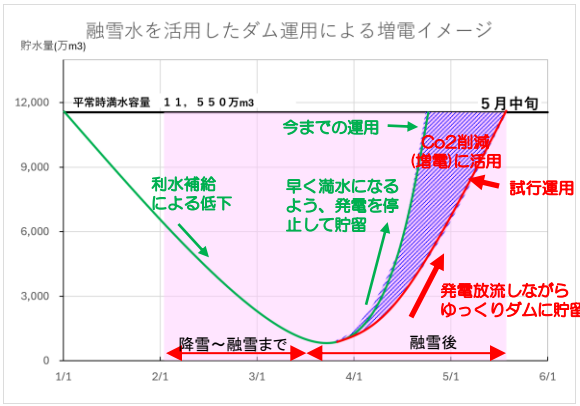
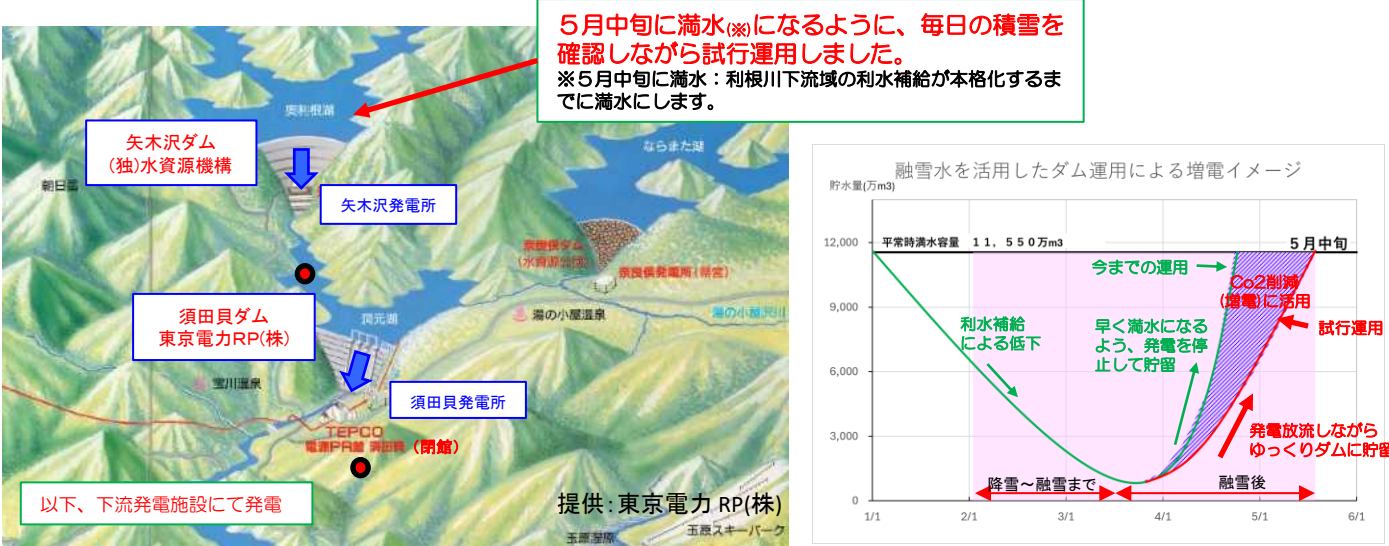
東京電力リニューアブルパワー株式会社【CO₂削減効果及び増電に関すること】

電話：03-6373-1111

業務統括室広報グループ

矢木沢ダム試行運用イメージ

利根川上流ダム群の中で積雪が多い矢木沢ダムの雪解け水を活用し、矢木沢ダムと下流にある東京電力リニューアブルパワー（RP）管理の発電施設で試行運用を実施しました。



雪

雪解け水活用

冬に降った大量の積雪を利用

矢木沢ダムで試行中(2022年～)

今後の利水に備えて...

大量の雪解け水

これ以上貯められない

ゲート放流

発電放流だけじゃ間に合わない

全力で貯留

満水到達！

放流ゼロ

雪解け開始

貯留スタート

従来

活用

まだ山にたくさん雪がある

気象観測

ゆっくり貯留

先使いで

計画的に発電放流

大量の雪解け水

まだまだ貯められる

計画的に発電放流

試行運用結果

実施時期	CO2削減量(t)※1	増電力量(MWh)※2
2022年春	約2,000	約5,000【一般家庭約1,200軒分※3】
2023年春	約3,700	約9,100【一般家庭約2,300軒分※3】
2024年春	約1,000	約2,500【一般家庭約 600軒分※3】
2025年春	約8,000	約19,700【一般家庭約5,000軒分※3】

※1 2023年度東京電力管内のCO2排出係数により算出
※2 発電実績から従来のダム運用で発電出来た電力量を差し引いて算出
※3 2022年度1世帯あたりの年間平均消費電力(3,950kWh)により算出